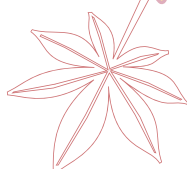




芸術の秋を満喫したい、新しい趣味を見つけないかと思つたときには、区民センターや地区センターといった身近な場所で活動しているサークルに気軽に参加してみませんか？
新しいことが身に付くだけでなく、同じことに興味を持つ人たちとの輪が広がり、一層楽しく続けられるのではないでしようか。
今回は、たくさんさんのサークルの中から、初心者でも気軽に楽しめそうな5つのサークルをご紹介します。

特集

仲間と楽しむ芸術の秋



編集：中央区市民部総務企画課広聴係 ☎060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目 ☎(011)231-2400 (内線224) FAX(011)231-6539

中央区役所 ☎060-8612 南3西11 ☎231-2400
中央保健センター ☎060-0063 南3西11 ☎511-7221
中央区土木センター ☎060-0012 北12西23 ☎614-5800

中央区民センター ☎060-0062 南2西10 ☎271-1100
旭山公園通地区センター ☎064-0809 南9西18 ☎520-1700

「区民のひろば～中央区からのお知らせ～」 ラジオノスタルジア (FM78.6MHz) 毎週月曜午後0時30分～
「中央区だより」 ラジオカロスサッポロ (FM78.1MHz) 毎週金曜午前10時10分～

今回紹介するサークル

(上段右から)

- さき織りサークル 咲き織り
旭山公園通地区センター
月曜日・午前
※さき織りとは？
細長く裂いた布や毛糸などを自由に織り込んでいく織物のこと。

- ペン習字 こぶし会
中央区民センター
金曜日・午前

- 江戸舞踊 かつぼれサークル
中央区民センター
土曜日・午前
※かつぼれとは？
200年ほど前の江戸時代・文化文政のころ、大阪の住吉神社に奉納された「御田植神事」に由来する踊りが全国に広まったといわれている。踊りの動きの激しさから「活惚れ」と当て字されることもある。

(下段右から)

- アカンサス木彫サークル
中央区民センター
水曜日・午前／午後
※アカンサスの由来は？
家具などによく使われる葉の模様のデザインの元になっている植物の名前から。
- アイデア料理サークル
ライラック
旭山公園通地区センター
金曜日・午前

さき織りサークル 咲き織り

このサークルは、昨年、旭山公園通地区センターで開催された「さき織り講座」の受講者が、講座終了後に始めたものです。



細長く裂いた布を横糸に使って実演する講師

を仕上げることができると、初心者で、私たちでも十分楽しめます」と代表の坂下さん。



色々な素材を織り込むことで複雑な模様が出来る

「さき織りは、幅や素材の違うものを横糸として織り込んでいくだけで、小物なら短時間で、誰でも個性的な作品

とがあれば、講師に気軽に質問してアドバイスを受けたら、みんなで相談しあったりして作業が進みます。織り方だけでなく染色にも挑戦。使い古しのシャツなどを自分の好きな色に染めて、小型の織機を使い、コースターやマフラー、バッグなど、仕上がりを見ながら、新しい作品のアイデアを練っています。



「この濃さならうまく染まるかしら」試行錯誤するのにも楽しい染色作業

ペン習字 こぶし会

「会のモットーは『会員同士が仲良くしていれば、いつ

は、お茶とお菓子で一服しながら、仲間や講師と気軽に語らう姿がよく見られました。ここでは、会員歴二十年以上も、最近ではまた会員数が増え

「ワープロやパソコンの普及で、以前、会員数が大きく減ったことがありました。でも、最近ではまた会員数が増え

アカンサス木彫サークル



午前は主に初心者、午後は上級者を教える講師の須貝さん（右端）

の楽しさについて「材料の木や仕上げに塗る染料に全く同じというものはないので、世界に一つだけの作品が作れるのが魅力だと思います。逆にいつまでも勉強で、百パーセント満足したといえるものは、いまだに作れていないんですけれどね」と笑顔で話してくれました。

作業中の部屋は、講師も一緒に会話で弾んで意外にもにぎやかな様子。木彫は根気のいる作業なので、週に一度のサークルに集まって、製作途中の作品を講師に見せてアドバイスを受けたら、気の合う仲間とおしゃべりしながら彫るのがいい気分転換になるようです。



ただいま姿見の一部を製作中。色を塗り、組み立てたときの出来上がりを楽しみに彫り続けます

アイデア料理サークル ライラック

このサークルでは、北海道の素材を生かすレシピや会員

ざると軟らかく仕上がることなど、一工夫のアドバイスがたくさんもらえます。調理が終わると全員で試食。

の間に自然に字も上手になる」ということ。希望者には硬筆検定向けの指導もしますが、親睦重視の会なんです」と講師の山本暁雨さん。この言葉通り、練習の合間に



添削する山本さん（左）も教わる会員も真剣

上の人から初心者まで、それぞれの段階に合った指導が受けられます。特に、初心者には、目の前で手書きした手本が与えられ、練習後、一人ひとり丁寧に添削を受けて、清書します。会員歴七年という男性は「初めてのころは字が下手なので手が震えるほど緊張したけれど、先生が優しく指導してくれて、いいところを伸ばしてくれるので、今まで続けることができました」と話してくれました。



手書きの見本は、ペンの流れが分かりやすく練習しやすいと会員に好評

てきています。手書きの良さが見直されていることを感じます」と話す山本さん。きれいな字を書けるようになりたいと思うのは、いつまでも変わらない日本人特有の気持ちなのでしょう。

江戸舞踊 かっぱれサークル

初心者から日本舞踊の経験者まで三十人ほどが加入しているかっぱれサークル。特徴である豆絞り手ぬぐいの鉢巻き、白地に紺色の模様が入った浴衣、色鮮やかなパッチ姿で、思わず手拍子したくなるような曲に乗り、元気に踊る様子はとても楽しそうです。

講師の櫻川悠后さんは「かっぱれは、指先からつま先まで全身を使う踊りです。振り付けにある片足立ちでポーズを決める運動は、骨に適度な刺激を与えるので骨粗しょう症予防に役立つとも言われて



皆さんの笑顔と踊りが見る人に元気を与えてくれます

います。一般的な日本舞踊と比べると曲のテンポも早いので、私たちは和風エアロビクスと言っていますよ」と教えてくれました。

練習の成果は、発表会や町内会の行事などで披露するほ



「指先はピンと伸ばして」細かいところまで練習で修正して舞台に備えます

か、老人保健施設などを訪問して踊ることもあり、大変好評だそうです。「私たちが元気に踊る姿を見て、お年寄りが手拍子したり、一緒に歌ったりする様子を見ると、人に喜ばれることが嬉しくて、さらにやる気がわいてきます」。踊りを楽しむ心が見る人に伝わっているのが分かります。

のリクエストに応える工夫のメニューを扱っています。この日作ったのは5種類のスコーンとほっきご飯、吸い物。二時間ほどで調理から試食、後片付けまで行うため、初めに講師の横山あつ子さんが、調理の段取りを説明します。皆さん熱心にメモを取り、調理開始に備えます。調理中も、生地の切り方でスコーン



一つの生地でも小分けして、形を変えたり、ドライフルーツを混ぜたりすることで味の違う5種類が完成

講師が差し入れた漬物がほっきご飯の味と合ったようで、「今度はこの漬物の作り方を教えてほしい」とリクエストが出るなど、和やかな雰囲気がおおいしさを一層引き立てます。



講師の横山さん（右端）と受講生は出来上がった料理を試食しながら上手に作るコツなどを情報交換

今回紹介したサークルのほかにも、区内では多数のサークルが活動しています。探してみると、きっと皆さんが興味の持てるサークルが見つかるでしょう。どのサークルの講師や会員の皆さんも、新しく入る人を暖かく迎えてくれますので、ぜひ参加してみてください。

また、自分でサークルを作りたい、サークル活動の会場を探しているという人も、気軽に使える区民センターや地区センターをぜひご活用ください。

【問い合わせ先】

●区民センター

南2西10 ☎271-1100

●旭山公園通地区センター

南9西18 ☎520-1700



ファミリーランニング&ウォーキング大会



9月11日(日)「第22回中央区ファミリーランニング&ウォーキング大会」が開催され、約400人が参加しました。さわやかな秋晴れの中、親子で仲良く走る姿などが見られました。



モンゴルとの交流

中央区とモンゴル国・バヤンゴル地区の子ども交流派遣事業が行われました。8月1日から8日まで同地区を訪問し、現地の人たちと交流を深めました。



中央区防災訓練

9月1日(木)二条小学校グラウンド(南3西14)で中央区防災訓練を実施、約190人が参加しました。



市電フェスティバル

9月10日(土)電車事業所(南21西16)などを会場に「2005市電フェスティバル」が開催され、市電と綱引き、写真撮影会などが人気を集めました。住みよいまちづくりを目指す「山鼻未来・ネットワーク協議会」が共催して、露店・縁日コーナーや盆踊りなどでイベントを盛り上げました。



広 告 欄

情報 オアシス

10月11日からの内容です

人口 199,846人
(前月比+366)
男 90,476人
女 109,370人
世帯数 108,226世帯
(前月比+210)
平成17年9月1日現在

一日行政相談

秋の行政相談週間にちなみ、中央区担当の総務省行政相談員、立松靖三さん、岩淵利明さんと民生児童委員の3人が、国や北海道、特殊法人(JR・NTTなど)などの行政に関する相談をお受けします。

▽日時 10月21日(金)午前10時～午後4時。
▽会場 区役所1階ロビー特設相談コーナー(南3西11)。
▽申込 平成18年1月31日(火)まで。
▽助成金額 対象経費の半額(限度額10万円)。
▽申込 平成18年1月31日(火)まで。
▽申込・詳細 地域振興課まちづくり担当(南3西11区役所分庁舎6階)
☎(231)2400(内線219・471)

まちづくり活動への助成

▽対象 住み良い環境づくりや地域の活性化、ボランティア活動など、中央区のまちづくりに関して意欲的に取り組む団体の、平成17年度中の活動。

▽詳細 総務企画課広聴係
☎(231)2400(内線201)

国民健康保険からのお知らせ

国民健康保険料を納付できない事情があり、平日の午後5時15分までに区役所へお越しになれない方に対して、夜間相談を行いますので、お気軽にご利用ください。

▽夜間相談日 10月27日(木)、28日(金)の午後8時まで。
※夜間相談に来庁する方は庁舎南側入口よりお入り下さい。
▽詳細 保険年金課収納係
☎(231)2400

入場
無料

すくすく・いきいきファミリーフェスタinちゅうおう

～みんなで考えよう・取り組もう！楽しい子育て・健康家族～

日時 10月15日(土)午前10時～午後3時(開場9時30分)

会場 中央区民センター(南2西10)

内容 (1階) ●ビューティーコーナー ●ボンジュール！共同作業所

●お薬のなんでも相談 ●お口の中のなんでも相談 ●講義「ひと味違う勉強の仕方」 ●ミニ講演会(藤田京孝^{ふじた きょうたか}歯科医・森孝之^{もり たかゆき}内科医・一条道代^{いちじょう みちよ}カラーセラピストによる3つの講演)

(2階) ●「うたってあそぼう！」 ●みんなで子育てすくすく広場 ●無料体験マッサージ

●おとうさん・おかあさんのための応急手当講習会 ●昔あそび体験！よく飛ぶ、スーパー竹とんぼをつくろう！ ●おもしろ科学実験教室 ●ビーズアクセサリ作り ●食から応援！健康家族

詳細 保健福祉サービス課 ☎231-2400

地域保健課(保健センター) ☎511-7221

詳しくは区役所・保健センター・まちづくりセンターで配布中のチラシか

ホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>)をご覧ください。

区民が作成した「わが街ウォーキングマップ」が完成しました！希望者に当日配布します

参加者募集

「親子みんなでウォーキング」

◆当日プログラム

(受付) 正午～(区民センター1階)

(出発式) 午後0時30分～1時

(ウォーキング) 午後1時～2時

◆コース 大通公園内

Aコース：3.2km Bコース：1.5km

◆募集人数

各コース50名程度 雨天中止

◆持参する物

運動靴・汗ふき用タオル・水分補給のための飲み物

◆参加申込

電話で受け付けを行っております。

◆その他

ウォーキングマップを配布します。

「思春期シンポジウム」

◆内容 ヤンキー先生の恩師安達俊子先生を迎えて思春期の子ども達の心についての講演とシンポジウムを行います。

◆時間 午後1時～3時

(申込・詳細)

地域保健課(保健センター) ☎511-7221 (FAX不可)

夕暮れ時の交通事故が多発しています。ドライバーは早めにライトを点灯しましょう

身体障がい者ふれあい ボウリング大会

▽内容 身体障がい者の心身の健康保持・交流の促進を目的としてボウリング大会を行います。大会終了後、懇親会を行い、皆さんから札幌市の街づくりに関するご意見をお受けします。

▽日時 10月29日(土)午前10時～午後1時。
▽会場 アオキボウル(南4西2)。
▽定員・費用 70人・無料。
▽対象 身体障がい者手帳を所持し、区内在住または、通勤・通学する体の不自由な方(内部障がいの方を除く)で投球可能な方。
▽申込 10月12日(水)～21日(金)に電話またはファクスで。
▽申込詳細 保健福祉サービス課保健福祉一係

区民囲碁大会参加者募集

☎(231)2400(内線352)
FAX(231)2346

▽内容 初級・中級・上級のクラスごとにハンディ戦。
▽日時 10月29日(土)午前9時30分開始。
▽会場 中央区民センター1階娯楽室(南2西10)。
▽対象 区内在住か当センター

1 囲碁開放を利用してある方。
▽定員 各クラス24名。
▽参加費 無料(昼食は各自でご持参ください)。
▽申込 10月21日(金)午前9時30分から区民センター1階ギヤラリーで受け付け。多数時抽選(受付開始30分前から整理券配布)。定員に満たない場合は引き続き受け付けますのでお問い合わせください。
(詳細) 中央区民センター

☎(271)1100

区民美術・書道展 作品募集

▽開催期間 11月10日(木)～16日(水)。
▽会場 区民センター1階ギヤラリー(南2西10)。
▽応募資格 区内在住の18歳以上の方(高校生は除く)。
▽募集作品

●美術の部 油彩画・水彩画・日本画・版画・アクリル画・水墨画・ちぎり絵で、大きさは、50号(116センチ×91センチ)以内。
縦・横自由で、額の裏に金具とひもを付けてください。
●書道の部 漢字・かな・近代詩文書・墨象・てん刻(印影)・刻字で、大きさは全紙(135センチ×



70センチ)以内。縦・横自由で額入り、軸装または簡易表装したもの。
※出品はそれぞれ一人1点とし、両方に出品可・題材・内容は自由。
▽出展申込 10月20日(木)～10月31日(月)午前9時～午後5時。電話または直接区民センター窓口へ申込。先着順(美術30点、書道20点まで)。
▽作品搬入 11月7日(月)・8日(火)の午前9時～午後5時。搬入の際に使用した梱包物、ひもなどは、お預かりできません。
▽作品搬出 11月16日(水)の午後5時～午後8時。11月17日(木)・18日(金)の午前9時～午後5時。
※作品の搬入・搬出は出品者で行ってください。作品の取り扱いには十分注意いたしますが、不慮の事故には責任を負いかねますので、ご了承ください。
▽申込詳細 中央区民センター

☎(271)1100

地区センター 「ふれあい文化祭」

サークル団体の作品や活動風景などの写真を展示します。3日(祝)はステージ発表があります。

ます。
▽日時・内容 展示 11月1日(火)～3日(祝)の午前10時～午後5時(3日は午後3時30分まで)。
ステージ 11月3日(祝)午後0時30分～午後3時30分。
〔第一部〕サークル団体の音楽や演舞。
〔第二部〕二胡・楊琴コンサート。
▽会場 旭山公園通地区センター(南9西18)。
※3日は一般車両の駐車場の利用不可。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
(詳細) 旭山公園通地区センター

☎(520)1700

地区センター講座

▽内容 編み物講座「おしゃれなニット帽子」(棒編みでまっすぐ編んでおしゃれなニット帽子を。サイズ調整可)。
▽日時・会場 旭山公園通地区センター(南9西18)にて、11月7日(月)から11月28日(月)までの毎週月曜日、午前10時から正午まで(全4回)。
▽対象・定員 区内在住・在勤の15歳以上の方(中学生・高校生を除く)。15人。
▽費用 受講料2千300円、教材費千900円。
▽持ち物 筆記用具、はさみ、

無料税理士相談

棒針(12号)2本、かぎ針(7号)1本、メジャー。
▽申込 10月19日(水)午前10時から同センターで受け付け(電話不可)。多数時抽選(受付開始30分前から整理券配布)。定員に満たない場合は、先着順。
※申込時に受講料をお支払いください。納入された受講料は、原則として返金できません。教材費は、開講初日に納入してください。
(詳細) 旭山公園通地区センター

☎(520)1700

▽相談日 11月9日(水)。
▽会場 区役所(南3西11)。
▽申込 10月26日(水)午前9時から電話で。先着順(7人)。
▽申込詳細 総務企画課広聴係

☎(231)2400(内線201)

子どもまつり

▽内容 (午前)各子ども会とリーダーによるゲームコーナーと出店。(午後)ステージなど。
▽日時 11月6日(日)午前10時～午後3時30分ころ。
▽会場 中央区民センター(南2西10)。
(詳細) 中央区子ども会育成連合会事務局

☎(271)1096

子育て掲示板

～子育てに役立つ情報を提供するコーナーです～

【ポリオワクチン服用のお知らせ】

ポリオは、ポリオウイルスによる感染症で、ワクチンを服用することにより予防できます。ワクチンは、6週間以上の間隔をおいて2回服用しますが、札幌市では5月と10月に行っています。

◆日時 下表の通り。

月 日	受付時間
10月7日(金)	午後1時30分～3時
10月17日(月)	午前9時30分～11時
10月25日(火)	午後1時30分～3時
10月28日(金)	午後1時30分～3時
10月31日(月)	午前9時30分～11時

◆会場 保健センター（南3西11）。

◆対象・費用 生後3カ月から90カ月未満（7歳6カ月に達する前）のお子さんが対象で、無料。なお、望ましい接種年齢は生後3～18カ月です。

◆注意事項 ①説明書などをよく読み、必要性や副反応を事前に理解してください。

②予防接種予診票に、体調などの必要事項（体温は当日服用前に会場で検温するので除く）を記入してお持ちください。

③説明書に、**予防接種を受けられない人と、受ける前に医師とよく相談しなくてはいけない人**が書かれています。間違いのないようお受けください。なお、詳細は保健センターにお問い合わせください。

④母子手帳を必ずお持ちください。

⑤ワクチン服用後に吐くことがあるので服用前後30分程度はミルクなどを与えないでください。

※駐車場が狭いため、自家用車でのご来場は、できるだけご遠慮ください。

次の方には、ご希望により有料(1,120円)で追加接種をします。

昭和50年～52年に生まれた方について、ポリオ免疫を保有している方の割合が他の年齢層に比べて低いことが、厚生労働省の調査で分かりました。この時期に生まれた方は、①ポリオウイルス常在国に渡航する時、②お子さんがポリオワクチン接種を受ける時に、再度接種することをお勧めします。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

（詳細）保健センター地域保健課 ☎511-7221

【子育てボランティア講習会】

子育て家庭の現状や親子とかかわる知識・技術、ボランティア活動の基礎などを学びます。

◆日時 11月7日(月)、8日(火)、9日(水)、10日(木)の全4回。いずれも午後2時～4時。

◆会場 保健センター（南3西11）。

◆対象 子どもやボランティア活動に関心のある方。

◆定員・費用 20人・無料。

◆申込 10月11日(火)午前9時から電話で。先着順。

（申込・詳細）保健福祉サービス課子育て支援担当

☎511-6399

【子育て講座受講者募集】

就学前の乳幼児を育てている保護者のための講座です。おしゃべりを通し、自分自身を見つめて、新たに子育てに向き合ってみませんか。

◆内容 「おしゃべり広場」子育てのこと・家族のことなど。

◆日時 11月29日(火)、12月1日(木)。各回午後2時～3時30分。

◆会場 保健センター（南3西11）。

◆対象 就学前のお子さんを育てている保護者（受講中は、お子さんをお預かりします）。

◆定員・費用 10人・無料。

◆申込 10月25日(火)午前9時から電話で。先着順。

（申込・詳細）保健福祉サービス課子育て支援担当

☎511-6399

中央区ふれあいコンサート
《ポップ・ステップ・ジャムin Kitara》

●日時 11月27日(日)

開場：午後1時 開演：午後1時30分

●会場 札幌コンサートホールKitara大ホール

●定員・費用 2,008人・無料

●内容 中央区の中学生による合唱と、このコンサートのために結成されたオリジナルバンドによるジャズ・ポップ・コンサートをお楽しみください。

《第1部》中央区の中学校による合唱

《第2部》ジャズ・ポップ・コンサート～やばらけん箭原顕プロデュース

《第3部》1部・2部の出演者合同演奏

●申込方法

往復はがきに参加希望者（5人まで）の氏名、代表者の住所、電話番号、返信あて先を記入して、11月11日(金)（消印有効）までに、中央区役所地域振興課「ふれあいコンサート」係（〒060-8612 南3西11）へ送付してください。多数時抽選。

（詳細）地域振興課地域活動係

☎231-2400（内線256）



(健)康guide

中央保健センターからのお知らせ

ガイド

申込・詳細 保健センター地域保健課

〒060-0063 南3西11 ☎511-7221 ㊟511-8499

【大人のための歯みがき教室】

～歯周病をしっかりと予防！～

歯を磨くと血が出たり、口臭が気になっていませんか。歯周病予防のために効果的な歯磨き方法をマスターしましょう。歯磨き圧測定、唾液による歯周病チェックも行います。

◆日時 11月1日(火)午後1時30分～3時(受け付けは午後1時10分から)。

◆会場 保健センター2階講堂(南3西11)。

◆対象 区内在住の方。

◆定員・費用 20人・無料。

◆持参するもの 歯ブラシ。

◆申込 10月11日(火)午前9時から電話で申し込み(先着順)。ファクス不可。

【環境と健康に配慮したエコッキング教室】

地球にやさしく、体にやさしい食事について考えてみませんか。

◆日時 10月27日(木)午前9時30分～午後1時(受け付けは午前9時15分から)。

◆会場 保健センター2階講堂・栄養実習室(南3西11)。

◆対象 区内在住の方。

◆定員・費用 30人・無料。

◆持参する物 エプロン・三角きん・スリッパ・筆記用具。

◆申込 10月12日(水)午前9時から電話で申し込み(先着順)。ファクス不可。

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	1,501 (+81)	2 (-2)	1,797 (+114)
札幌市	8,313 (+400)	18 (-17)	10,029 (+472)

※平成17年9月12日現在
()は前年比

一般家庭ごみの出し方

使い捨てのスプレー缶などによる収集車の火災事故が発生しています。使い切った後、風通しの良いところで缶に穴を開け、別袋で出すようにお願いします。

また、収集車がごみを収集した後や、決められた収集日以外にステーションにごみを出している方が見受けられます。

一人ひとりがルールとマナーを守り、きれいな街並みをつくりましょう。

(詳細) 中央清掃事務所 ☎581-1153

ドライカレー

[エネルギー471kcal
塩分1.7g]

<材料2人分>

米……160g
A { バター……小さじ1
カレー粉……少々
白ワイン……小さじ1/2
合いびき肉……60g
玉ねぎ……160g
にんじん……60g
ピーマン……10g
大豆水煮……20g
セロリ、生姜、にんにく……各少々
レーズン……小さじ1
サラダ油……小さじ1/4
小麦粉……小さじ1強
カレー粉……小さじ1/2
中濃ソース、ケチャップ、醤油、塩、こしょう、赤ワイン



子どもに
大人気。野菜
もたくさん
メニュー

<作り方>

①米はAを加えて炊飯器で炊く。
②野菜・大豆水煮・ぬるま湯で戻したレーズンは、すべて細かく刻んでおく。
③鍋に油を入れて温め、合いびき肉と刻んだ野菜をよく炒める。
④③に大豆水煮・レーズンを加え炒め、小麦粉・カレー粉を振り入れてさらによく炒める。
⑤中濃ソース・ケチャップ・醤油・塩・こしょう・赤ワインで味を調える。
⑥器に①を盛り、⑤をのせる。

毎週水曜日に中央区役所分庁舎六階食堂と消防局地下一階で「ヘルシーランチ」を提供しています。今月は、10月19日のヘルシーランチから紹介しました。



健康レシピ 第4回
学校給食の良さを知ろう

平成17年5月に策定された「札幌市食生活指針」では、新たに「食育」という視点が盛り込まれました。食育とは、子どものときから食育することの意味を理解し、一人ひとりが自身自身で健康を守り、豊かな食生活を営む能力を育てることです。今月は、子どもたちが食べている学校給食についてご紹介します。

札幌市の学校給食は、昭和22年に始まり、当初は児童の体位向上のため、栄養を取ることが一番大切でした。現在は、「教育の一環」として位置付けています。飽食の時代、何をどのように食べるかなど、自ら考え実践する力を育てることが重要と考えられています。また、みんなで一緒に同じ食事をするこ

★10月は食生活改善普及月間です。25日(火)・26日(水)に区役所1階ロビーにおいて、パネル展が開催されます。ぜひ、ご覧ください。